

第5章 計画策定に係る基本的な方針

1. 基本理念

住宅は日々の生活の重要な構成要素であると同時に、それを取り巻く環境も重要です。とりわけ、県下第1位の広域市である本市では、住宅を取り巻く環境は地域ごとに多種多様であり、それらを相互に認識し、尊重することが豊かな住生活の実現にとって不可欠です。

また、住宅は健康で文化的な生活を営むための基盤であり、近年の少子高齢化の進行や社会経済状況の変化を踏まえると、生活に対する安心・安全のための一つの要素としてより重要性を増してきています。

さらに、人口30万人を目指す本市においては、住宅はまちを構成する基本的要素であり、まちづくりという観点からは欠くことのできない重要なものです。

そして、まちづくり・住まいづくりに関して地球環境といったより大きな視点から考察を加えることは、次の世代に対してしなければならない重要な責務であると考えます。

このように、今日における住宅は多様な意味を有しているなかで、住生活基本計画を、豊かな住生活実現のため、これらを概観し、相互作用を意識するための総合的な計画とします。

また、この計画を本市の住生活の将来像がイメージできるものとし、計画を確実に進めていくことにより、豊かな住生活を実現し、「つくっては短期間に壊す」社会から「いいものをつくって大切に使い続けていく」社会へと徐々に移行していくことを方向づけるために、この計画の基本理念を、

『未来の世代へつなごう いちはらの豊かな住生活』

として掲げます。

そして、市民や関係事業者等もこの基本理念を強く認識し、連携して推進していくものとします。

基本理念

未来の世代へつなごう いちはらの豊かな住生活

2. 基本方針

基本理念『未来の世代へつなごう いちはらの豊かな住生活』に基づき、市民一人ひとりが真に心の豊かさを実感できる住生活を実現するために、以下の6つを基本方針として掲げます。

- (1) 市民生活の基盤となる住宅そのものの質の向上を図るため、

「安全で良質な住まいづくり」を推進します

- (2) 住宅だけでなく、住生活を支える環境も向上させていくため、

「良好な住環境づくり」を推進します

- (3) 本市の地域特性を活かしながら住情報を有効活用し、多様な住まい方に対応していくため、

「住宅市場を活かした多様な住まいづくり」を推進します

- (4) 高齢者や障がい者、住宅困窮者など支援を必要としている人たちが、地域で安心して暮らしていける環境づくりを進めるため、

「安定した生活を支える住まいづくり」を推進します

- (5) 高齢社会において住環境を充実させるには、それぞれの地域の活発な自治会活動等やコミュニティ活動を活性化していくことが必要であるため、

「住生活を支える地域社会づくり」を推進します

- (6) まちづくりに関連した事業と住宅施策が連携することで、いちはらの魅力を高めることにつながります。このような観点から

「いちはらの特性を活かしたまちづくり」を推進します

基本方針

- 基本方針1：安全で良質な住まいづくり
- 基本方針2：良好な住環境づくり
- 基本方針3：住宅市場を活かした多様な住まいづくり
- 基本方針4：安定した生活を支える住まいづくり
- 基本方針5：住生活を支える地域社会づくり
- 基本方針6：いちはらの特性を活かしたまちづくり

3. 課題解決のための展開の視点

(1) 市の広域性及び地域特性重視

本市は、JR内房線沿いの連続した市街地と内陸部の大規模な市街地で形成されており、住宅地は低層住宅が中心ですが、駅の周辺では比較的新しいマンションも立地しています。

市の東部や西部地域では土地区画整理事業による住宅地の整備も進んでおり、中部地域では、既成市街地や丘陵地の大規模の住宅地、南部地域には旧道沿いを中心に既成市街地が形成されており、全体として集落が非常に広く分布しているのが特徴です。

これらを踏まえ、本市における広域性及びそれぞれの地域が持っている特徴を活かしながら基本方針を達成していくため、「市の広域性及び地域特性重視」を課題解決のための展開の視点として定め、取り組んでいくこととします。

- ・広域性を配慮し、まちなか居住、住宅団地、自然に恵まれた地域などの住まい方
- ・ハード・ソフト両面からの総合的な取り組みによる対応

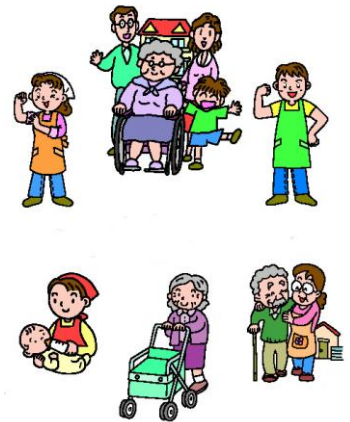
(2) 協働重視

昨今の非成長の社会経済の中で、市民の多様なニーズに対応していくためには、更なる行財政運営の効率化が求められています。

これらを実現していくためには、既存の行政手法等の見直しが必要となるため、機能のスリム化や電算化等によるサービスの効率化が必要不可欠です。

あわせて、市民が行政と一緒に必要なサービスを考え、それぞれの主体に合った適切な役割分担を行うことで、今の時代に合った新しい公共をみんなで創造し実践していくことが必要です。

そこで、市民・民間事業者及び関係団体・行政が一体となって住宅施策を進めていくため、「協働重視」を課題解決のための展開の視点として定め、取り組んでいくこととします。



- ・福祉、環境、まちづくり等の幅広い施策との連携による対応
- ・住民ニーズの多様化への対応

課題解決のための展開の視点

- 1) 市の広域性及び地域特性重視
- 2) 協働重視